

The background of the poster features three stylized figures in action. On the left, a figure in a white karate gi with a black belt is performing a high kick. In the center, a figure in a white gi is in a defensive stance. On the right, two figures are engaged in a kickboxing match; one is wearing a black protective helmet and gloves, while the other is in a black gi. The background is a vibrant orange with white and yellow abstract splashes and a faint circular seal in the center. The word 'KARATE' is written in large, bold, red capital letters across the middle-left, and 'KICKBOXING' is written in similar red capital letters across the middle-right.

KARATE

KICKBOXING

カラテオールジェネレーションカップ 2025 名古屋大会

2025 年 9 月 7 日 (日)

名古屋市露橋スポーツセンター

主催：全真会館大会実行委員会

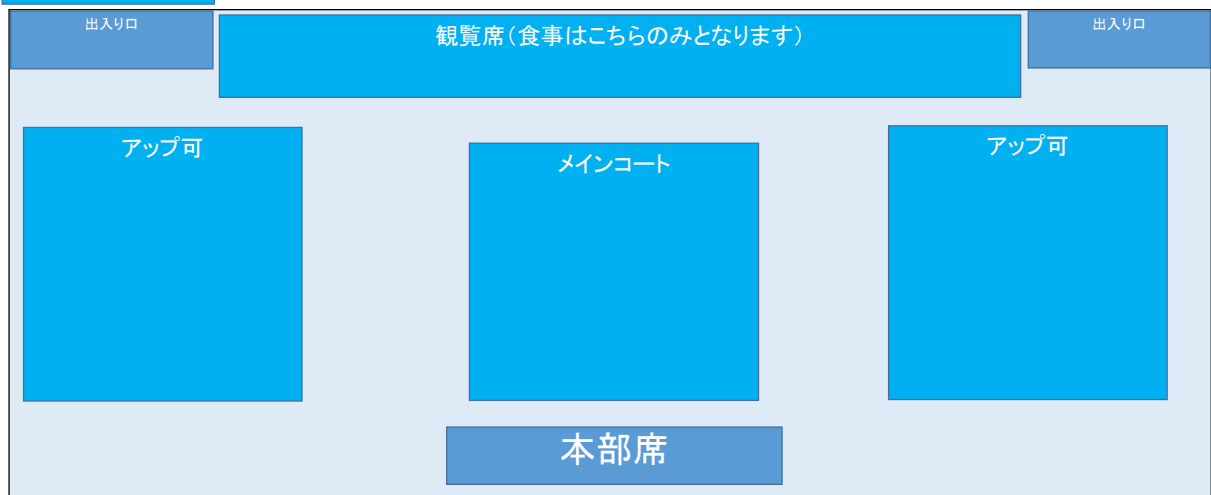


出場選手・セコンド・応援・指導者の皆様へ

- 大会が安全に、そして円滑に進めるため、運営スタッフ、審判先生の指示に従ってください。
 - マスク・フェイスシールド着用は個人の判断でお願いいたします。
 - (選手のみなさんへ) 試合場に入場、退場の際は一礼をしましょう。
 - (選手のみなさんへ) 試合にはお互いに尊重してのぞみ、試合終了後はお互いに、たたえあい、握手をして試合場を退場しましょう。
 - 試合場セコンドブースに入場できるのは制限ありませんが必ず座って、節度ある態度でお願いします。
 - 応援する際、過剰なまでの応援、また相手選手に対しての罵声などは絶対おやめください。大会参加をお断りする場合があります。
 - 会場内での試合に関係のない遊び・大声あげての奇声・雄たけび(個人・集団)など武道性に欠ける行動は禁止いたします。
 - 審判の声や笛が聞こえないくらいの音出しは禁止です。(審判員の声をさまたげるような行為もお控えください)
 - 審判員の判定についてのクレームなども一切受付いたしません。
 - 大会・団体・個人への批判めいた言動・行動などはおやめください。
- ※大会・団体・個人への批判めいた映像・動画・意見を動画サイト・SNSに投稿しないようお願いします。
- 試合の様様・結果・映像・動画は、全真会館公式サイト・公式SNSに掲載する予定です。
 - 全クラス終了後表彰行います。賞状・楯・メダルはその場でお渡しします。
 - 選手呼び出しはございません。各自試合順を確認し、5試合前にコート選手控えに待機してください。
- ※アナウンス時いない場合失格になる場合があります。
- 試合会場・受付・選手控え・ウォーミングアップ会場はすべて柔道場です。※剣道場はウォーミングアップはできません。
- ※柔道場畳内は食事禁止です。観覧席のみとなります。
- ゴミ(マスク含む)は、各自でお持ち帰り下さい。
 - 一般・女子は更衣室をご利用ください。

試合会場・選手控え(柔道場)大会会場案内

柔道場前・剣道場
前はアップ禁止で



◆KARATE ALL GENERATION CUP2025 名古屋大会 進行◆

キック一般男子	Bクラス	+75kg級	ワンマッチ	1
キック一般女子	Bクラス	-48kg級	ワンマッチ	2
キック一般男子	Bクラス	-65級	ワンマッチ	3
FKマスターズ中級	40～49歳男子	無差別	決勝戦	4
FKマスターズ上級	40～49歳男子	75kg超	第1試合	5
GKマスターズ上級	60歳以上男子		第1試合	6
FK一般上級	男子	75kg以下	第1試合	7
FK一般上級	男子	75kg超	第1試合	8
FKマスターズ上級	40～59歳女子	無差別	決勝戦	9
FKマスターズ上級	40～49歳男子	75kg超	第2試合	10
GKマスターズ上級	60歳以上男子		第2試合	11
FK一般上級	男子	75kg以下	第2試合	12
FK一般上級	男子	75kg超	第2試合	13
FKマスターズ上級	40～49歳男子	75kg超	第3試合	14
FKマスターズ上級	50～59歳男子	75kg超	決勝戦	15
GKマスターズ上級	40歳以上男子	計量	決勝戦	16
GKマスターズ上級	60歳以上男子		第3試合	17
FK一般上級	男子	75kg超	第3試合	18
FK一般上級	男子	75kg以下	第3試合	19
試合時間(キック)				
マスターズビギナーワンマッチ		本戦1分30秒のみ(引き分けあり)		
一般Bクラスワンマッチ		本戦1分30秒2ラウンド(引き分けあり)		

※一般Bクラスワンマッチはインターバル30秒

試合時間(マスターズ・一般)			
マスターズ35～39歳まで	本戦2分	延長戦1分	
マスターズ40～59歳まで	本戦1分30秒	延長戦1分	
マスターズ60歳以上	本戦1分30秒	延長戦30秒	
一般	本戦2分	延長戦2分	再延長戦2分

キックボクシング 一般男子Bクラスワンマッチ+75kg級

所属	氏名	ゼッケン	ゼッケン	氏名	所属
空心塾 名和支部	コンドウ ライ 近藤 頼	1	2	スズムラ ヒロキ 鈴木 洋希	全真会館 名古屋本部
1					

勝利者賞	敢闘賞
------	-----

キックボクシング 一般女子Bクラスワンマッチ-48kg級

所属	氏名	ゼッケン	ゼッケン	氏名	所属
インパクト空手道場	タカベ サオリ 高部 沙織	3	4	オギノ エミカ 荻野 永美花	全真会館 中部本部
2					

勝利者賞	敢闘賞
------	-----

キックボクシング 一般男子Bクラスワンマッチ-65kg級

所属	氏名	ゼッケン	ゼッケン	氏名	所属
拳桜塾	イトウ シュウヘイ 伊藤 修平	5	6	ヨコヤマ ハヤテ 横山 颯	全真会館 名古屋本部
3					

勝利者賞	敢闘賞
------	-----

全真FKマスターズ中級40～49歳男子無差別

所属	氏名	ゼッケン	決勝	ゼッケン	氏名	所属
空心塾 名和支部	シェルトン ジェレミー ジェイムズ	7	4	8	オカノ カズユキ 岡野 和行	全真会館 中部本部

優勝	敢闘賞
----	-----

全真FKマスターズ上級40～59歳女子無差別

所属	氏名	ゼッケン	決勝	ゼッケン	氏名	所属
祐心会	ハヤシケイコ 林 敬子	9	9	10	オギノ トシコ 荻野 利子	全真会館 中部本部

優勝	敢闘賞
----	-----

全真FKマスターズ上級40～49歳男子75kg超

所属	氏名	ゼッケン	11	12	13		
全真会館 中部本部	ハギハラ リョウスケ 萩原 良介	11		5	14	優勝	
誠流塾	ヤマダ リョウ 山田 亮	12		10	10	準優勝	
全真会館 名古屋本部	オカノ コウタロウ 岡野 浩太郎	13		10		敢闘賞	

全真FKマスターズ上級50～59歳男子75kg超

所属	氏名	ゼッケン	決勝	ゼッケン	氏名	所属
秀憧塾	オオヤ タカトシ 大屋 貴俊	14	15	15	シンカワ ヒロミ 新川 広美	全真会館 中部本部

優勝	敢闘賞
----	-----

全真GKマスターズ上級男子40歳以上 軽量

所属	氏名	ゼッケン	決勝	ゼッケン	氏名	所属
全真会館 四日市支部	マツモト リュウジ 松本 竜司	16	16	17	ヒラマツ クニノリ 平松 邦紀	全真会館 中部本部

優勝	敢闘賞
----	-----

全真GKマスターズ上級男子60歳以上

所属	氏名	ゼッケン	18	19	20		
全真会館 中部本部	ウチダ コウシ 内田 康史	18		6	17	優勝	
全真会館 中部本部	モリカワ クニヒコ 森川 邦彦	19		11	11	準優勝	
全真会館 名古屋本部	サトウ タツオ 佐藤 竜男	20		11		敢闘賞	

全真FK一般上級男子75kg以下

所属	氏名	ゼッケン	21	22	23		
誠流塾	タグチ ヒロタケ 田口 滉健	21		7	19	優勝	
空心塾 名和支部	マツモト レン 松本 蓮	22		12	12	準優勝	
全真会館 中部本部	オギノ レオ 荻野 玲大	23		12		敢闘賞	

全真FK一般上級男子75kg超

所属	氏名	ゼッケン	24	25	26		
空心塾 名和支部	コンドウ ライ 近藤 頼	24		8	18	優勝	
真武會	オカモト ヨシナリ 岡本 善克	25		13	13	準優勝	
全真会館 中部本部	タカノ コウサク 高野 優作	26		13		敢闘賞	

◆全真会館空手大会ルール表 ◆2025年2月改訂版

	試合時間					ルール					
	本選		延長		再延長	上段膝蹴り	片手での掴みや引掛け	両手掴み引掛け	上段への蹴りポイント	片手押し	両手押し
一般クラス	2分		2分		2分						
マスタース35歳から39歳まで	2分		1分								
マスタース40歳から59歳まで	1分半	→	1分	→	無し	一般上級男子のみ有り。 ※それ以外のクラスは無しで反則となる。	GKクラスの場合のみ一瞬。それ以外は反則となる。	無し。反則となる。	無し。技あり一本のみとする。	攻撃につながる一瞬片手の押しからの攻撃は認めるが連続での押しは反則となる。	無し。反則となる。
マスタース60歳以上	1分半		30秒								
幼年～中学生	1分半		1分								
幼年～中学生(ベスト4より)	1分半		1分		1分		無し。反則となる				

※(全クラス)最終延長戦の場合マストシステムでどちらか勝者となる。

※(ジュニアのみ)上段への蹴り技が、相手のノーガードの箇所、的確にクリーンヒット場合、ダメージの有無を審判が判断して技ありが与えられる。また、中段、下段に関しては、的確にヒットし、ダメージの有無を審判が判断して技ありが与えられる。

(ダメージが強い場合は一本を取る場合がある。ガードしていてもダメージが強い場合、技ありまたは一本とする。)

※(ジュニアのみ)上段の蹴りで、フェイスシールドにかするくらいの蹴りは技ありではない。

※(ジュニアのみ)中段(上段)前蹴りにより背中から転倒した場合も技ありとする。(ガードしていても)

※(ジュニアのみ)初心クラスでボディの攻撃によるダメージを見極めて、早々に技ありを宣告する。

※(ジュニアのみ)試合途中嘔吐した場合は続行不可能として負けとする。

組手試合の勝者は、一本勝ち、判定勝ち、相手の反則ないし失格による勝ちにより決定する。反則箇所を除いた部分に、突きや蹴りを、相手の防御されていないところを狙って、いかに的確に攻撃を決めるかを最優先にして優劣を競う全真会館ルールを採用する。※ジュニアクラスはリアルチャンピオンシップルールに準ずる全真会館ルール。

(1)一本勝ち

相手がダウンしたり、一時的にでも戦意を喪失した場合。

(2)技有り

一瞬のダウンの場合。また的確にか相応の打撃が入って相手の動きがダメージにより一瞬とまった場合。

(3)TKO(テクニカル・ノックアウト)選手は、以下の場合にTKO(テクニカル・ノックアウト)となる。

(a)選手の方が著しく優勢な場合は、主審の判断により、試合終了を待たずに勝者を決定することができる。(レフェリーストップ)

(b)選手が負傷や大きなダメージにより大会医師が試合続行不可能と判断した場合。(ドクターストップ)

(4)判定勝ち

試合時間内に一本勝ちやTKO、失格で勝敗が決まらなかった場合は審判団の判定により勝敗を決する。

どちらかの選手が、審判団数の過半数以上の賛同を得た場合に勝利となる。それ以外は引き分けとする。

●選手または所属する団体の責任者はならびにその関係者、保護者は審判員の宣告に対して不服・異議を申し立てる事はできない。

●本大会規定に定められていない問題が生じた場合、大会役員、審判長、審判員、及び試合審議役の合議によってこれを処理するものとする。

●反則に関する注意事項

反則には注意1が与えられ、注意2で減点となる。

さらに反則をした場合、注意1、さらに反則した場合は注意2、減点。あわせて減点2となり失格となる。(反則はすべての反則行為合算とする)

※反則の種類や度合い、悪質であると判断された場合には、注意を通り越して減点、もしくは失格となる場合もある。

●反則

◎危険行為(基本的な反則の取り方をするが、審判員が悪質な反則とみなした場合、一発で減点を取る可能性もある。)

①蹴り以外(一般男子上級クラス以外の上段への膝蹴りは反則)の顔面及び喉への殴打。

(手、肘、腕、による首から上への攻撃。首への攻撃は反則となる。有効技以外による殴打。)故意であるなしに関わらず、厳しく注意をとる。

②頭突きによる攻撃。

③男子選手の金的への攻撃。及び、女子選手の下腹部への攻撃。

但し、男子の出場選手には金的ファールカップ、女子の出場選手にはアンダーガード・女子用ファールカップの着用を義務付ける。

女子選手の下腹部とは、帯から下(ヘソから下)から足の付け根の辺りまでの鼠蹊部(ソケイブ)の事をいう。

カップやアンダーガード着用の上で金的や下腹部への攻撃を受けた場合、反則した選手に注意が与えられ、ダメージのある選手には、休憩時間を与える措置をとる。

カップやアンダーガードの着用義務を怠り、金的や下腹部への攻撃を受けた場合は、反則した選手に注意が与えられるが、ダメージが大きくて試合を続行出来ない

時は、自己の不注意による試合続行不可能として相手選手の勝ち扱いとなる場合もある。

④一般男子上級クラス以外での上段への膝蹴り。

⑤倒れた相手へ直接打撃を加えたとき。

⑥関節部分に関節技、あるいは首への締め技をかけること。

⑦背後からの攻撃

相手選手が完全に無防備に後を向いてしまった場合に攻撃してはいけないが、自ら後を向いてしまった選手には戦意放棄と見なし「場外」と同じ扱いの注意が与えられる。

⑧試合終了、あるいは主審の止めのコール後や相手が場外に出たのに攻撃すること。

但し、プロテクターが外れたり、あるいは場外になるときに、気を抜いて相手の攻撃によりダメージを受けた場合は、審判の判断により、技有り、又は一本になる

場合もあるので絶対に気を抜かないこと。試合中に気を抜いた選手には、戦意放棄と見なした警告が与えられる。

⑨全クラスでの大腿部(太もも)または、ふくらはぎに中足、足刀、足裏による正面・外側面への攻撃、または内側への攻撃

⑩全クラスでの膝関節(全方位)に中足、足刀、足裏、かかとによる正面・外側面への攻撃、または内側への攻撃

◎掴み等に関わる反則について※ジュニアクラスは掴み・ひっかけはすべて反則となる。

①両手による掴み。

一般・マスターズ掴みありルールにおいて、片手による掴みは、攻撃のための瞬間的なものを認めるが、それ以外は反則とする。両手による掴みは首相撲も含む。

掴みについては、片手で技を出す為の手段としてのみ行うものを認める。一秒を超える掴みは、反則とする。一瞬の掴みにおいて掴む部位は、帯より上の上半身

部分において認める。但し、道衣の背中部分に対する掴みは反則とする。

引っ掛けに関しては、全て開手のみで行う事とする。一瞬の引っ掛けに関しては、手刀、背刀、背手、掌手の部分(手首の折れ曲る部分から先の部分)で一瞬のみ認

める。手の平部分での頭部に対しての打ち込み、押さえ込み、引っ張り込みについては反則とする。但し、一瞬の技を出す為の引っ掛けは有効である。手首(折れ曲

がる部分)から肘の間で瞬時でも、引っ掛けると抱え込みとなり反則となる。

②両手で相手を掴んで投げること。

但し、片手で袖口を掴んで足払いをかけて倒して決めた上、残心を取った場合や崩して突き・蹴りを入れた場合は判定材料で有効となる。

(瞬間的に技を掛けないと掴みの反則となる)

③掌底で相手を押す行為。相手の腕を押さえる行為や、拳で相手を押さえる行為もこれに含む ※ただし一瞬の片手押しからの攻撃は認めるものとする。

④胸を付ける行為は反則とする。

⑤頭を付けての打合いは反則とする。悪質な場合は即、減点とする。

◎その他の違反行為に関わる反則

①故意に場外に逃げること。(場外注意)

②技の掛け逃げは、反則として注意をとる。

自分が技を掛けた後、倒れ込んでしまう様な技(回転廻し蹴り等)は相手選手が反撃できない為、倒れ込んだ時に受けを行い、決めを入れる事により技有りには

ならないが判定材料で有効と成る。但し、相手の攻撃が効いた時など、苦し紛れや休む為に出した場合「掛け逃げ」と判断する。

技の掛け逃げに関しては、注意2で減点1とするが、故意であると主審が判断した場合や悪質な場合は、ただちに減点になる場合もある。

③過度な反則のアピールは、度が過ぎると注意、減点の対象となる。

選手は武道である空手の大会に出場しており、勝つためだけに相手選手の微少な反則(軽く手が顔に触れただけや、軽い金的攻撃で大げさに痛がる等)を過剰に

反則を審判にアピールする行為は非常に見苦しく、空手道精神に反する。もちろん反則行為を容認するものがないが、節度のある対応を希望する。

④審判員の指示に従わなかったり、選手として相応しくない態度、及び言動をとること。

⑤相手選手を中傷するような掛け声や、野次などをとばした場合、選手に注意や減点が与えられることがある。

⑥以上の他、審判員が特に反則と見なしたとき。

●失格

① 試合中、審判員の指示に従わない時。

② 出場時刻に遅れたり、出場しない時。

③ 見合ったままの状態で30秒以上経過した時。この場合は戦意なしとして、双方失格となる。

④ 粗暴な振る舞い、悪質な試合態度とみなされた時。

⑤ 減点を2回重ねた時。(ただし、減点1を取られた場合の後の、悪質で危険な反則行為は即減点2となり失格となる場合もある。)

⑥ 反則攻撃により、相手選手が負傷して試合続行不可能になった場合。

●ドクターストップについて

選手の方が著しく優勢の場合や主審が必要であると判断した場合には、試合終了を待たずして試合をストップして裁く事がある。

選手が負傷のため、試合を続行することができない場合には、次の項目によって勝敗を決定する。

①負傷の原因が相手の反則による場合は、故意・偶発性にかかわらず反則者の負けとする。

(負傷者がした場合、試合を継続させるかどうかは大会医師の判断で、試合の勝敗に関する事は、審判長・審判員・監査役が協議の上、決定する。)

②負傷の原因が負傷者自身の不注意による場合は、負傷をした方の負けとする。

(負傷者がした場合、試合を継続させるかどうかは大会医師の判断で、試合の勝敗に関する事は、審判長・審判員・監査役が協議の上、決定する。)

※膠着状態、或いは場外際等できわどい状況で、主審が「止め」または「場外」などのコールを宣告して、ブレイクに入る状態を待たずにガードを下げ戦闘状態を

解いてしまった場合、その瞬間に攻撃を受けて負傷しても、②が適用されるので、競技者は注意すること。

●Tシャツ・装飾品・テーピングについて

①選手は身体に下着(TシャツやTシャツの着用は女子のみ認めるものとする。男子は不可とする)、空手着、各クラスで認められた装着義務のあるプロテクター

(中学クラスのインナーチェストも含む)、サポーターやグローブ類以外の物を付けてはならない。男子は体の傷等を隠すための、Tシャツ等の着用は主催者の

了解した選手のみ認める。

②大会ドクターが認めたテーピング等は、この限りではない。アクセサリー・指輪等は必ず外さなければ試合を行う事はできないものとする。

●全クラス体重別クラスでの測定規定について

軽量(未満)クラスのみ体重測定があり、計量はTシャツと空手衣ズボンを着用して行い、そこからマイナス0.9*_gしたものを計量記録とする。

【クラスの規定体重を】計量オーバーした場合、1キロ未満なら減点1からの試合開始。延長、再延長も減点1から

1キロ以上のオーバーは失格となり試合をすることができない。

【例】30キロ未満の部、の場合(道着とTシャツ着て)30.8キロまでOK。

◆全真会館空手ルール防具規定表◆2025年6月改訂版
※新型コロナウイルス感染予防対策につき、若干規定の変更があります。後日マスク・フェイスシールドについて改訂する場合あり。

	●各自用意	○主催者用意	△任意着用	×着用無し								
	拳	ヒザ	スネ	インナーチェスト	スポーツブラ・パット	Tシャツ	ファールカップ	アンダーガード	ヘッドガード	マウスガード	飛沫防止フェイスシールド	飛沫防止マスク
一般男子上級	×	●(布製)	×	×	×	×	●	×	×	△	着用は個人の判断といたします。	
一般男子中級	●(グローブ)	●(布製)	●(布製)	×	×	×	●	×	×	△		
一般男子初中級・初級	●(グローブ)	●(布製)	●(布製)	×	×	×	●	×	△(主催者用意)	△		
マスターズ男子中級・上級	●(グローブ)	●(布製)	●(布製)	×	×	×	●	×	△(主催者用意)	△		
マスターズ男子初級	●(グローブ)	●(布製)	●(布製)	×	×	×	●	×	△(主催者用意)	△		
一般女子上級	●(グローブ)	●(布製)	●(布製)	△(どちらか任意着用)		●	●(女子用どちらか使用)		×	△		
一般女子中級	●(グローブ)	●(布製)	●(布製)	△(どちらか任意着用)		●	●(女子用どちらか使用)		×	△		
一般女子初中級初級	●(グローブ)	●(布製)	●(布製)	△(どちらか任意着用)		●	●(女子用どちらか使用)		△(主催者用意)	△		
マスターズ女子中級・上級	●(グローブ)	●(布製)	●(布製)	△(どちらか任意着用)		●	●(女子用どちらか使用)		△(主催者用意)	△		
マスターズ女子初級	●(グローブ)	●(布製)	●(布製)	△(どちらか任意着用)		●	●(女子用どちらか使用)		△(主催者用意)	△		
中学生男子	●(拳サポーター)	△	●(布製)	●(規定)	×	×	●	×	●(規定)	△		
中学生女子	●(拳サポーター)	△	●(布製)	●(規定)	×	●	●(女子用どちらか使用)		●(規定)	△		
小学生男子	●(拳サポーター)	△	●(布製)	●(規定)	×	×	●	×	●(規定)	△		
小学生女子	●(拳サポーター)	△	●(布製)	●(規定)	×	●	●(女子用どちらか使用)		●(規定)	△		
幼年(男女)	●(拳サポーター)	△	●(布製)	●(規定)	×	※女子のみ着用	△	△	●(規定)	△		

●拳(中学生までは布製拳サポーター・高校生以上は指が出るパンチンググローブ。※MMA用のグローブは不可)
 ※拳頭部へのパンテーシ・テーピングは禁止となります。

●男子ファールカップは下記タイプで、各自用意し必ず道衣の下に着用してください。また消耗しすぎている防具の使用は不可とします。
 ●女子クラスの選手はアンダーガードまたは女子用ファールカップ着用となります。

ジュニア(幼年から中学生)

一般・マスターズ



●すねパット・ひざパットは、すね及び足甲部、ひざのそれぞれをカバーするものであれば各自用意したもので可とします。(硬質ゴムやプラスチック等の硬質の物の使用は禁止です。)

●中学生までの男女は指定のインナーチェスト(イサミ製-8303・マーシャルワールド製CP11・リアルチャンピオンシップ公認チェストプロテクター着用となります。)(各自用意)
 ※今大会新型コロナウイルス感染予防のため、普段使用している上記メーカー以外のインナーチェストの着用を認めます。



●高校生以上の女子選手はインナーチェストまたはスポーツブラ任意装着です。
 ※硬質性のスポーツブラまたはインナーチェストは使用できません。



●中学生までのヘッドガードは下記規定のヘッドガード(イサミSS45・イサミTT45・イサミ CKW-35・リアルチャンピオンシップオリジナルヘッドガード)を使用



※今大会は普段稽古で使用しているヘッドガードを持参してもらっても大丈夫です。なお下記のような面有ヘッドガードの面は外してください。面を外してあればOKです。



キックボクシングルールは別紙
をご覧ください。

◆全真会館大会キックボクシング(全真KBルール)ルール表 ◆2025年2月改訂版

		試合時間		主なルール							
	1ラウンド	2ラウンド	ヘッドガード	上段膝蹴り	片手での掴みや引掛けからの蹴り	両手掴み引掛けからの蹴り	肘打ち・バックブロー	審判・相手・セコンドへの侮辱行為	投げ・間接技・頭突き・目突き・かみつき	背後攻撃・倒れた相手への攻撃	故意による金的攻撃
	2分 インターバル30秒 2分 1分半 インターバル30秒 1分半 1分半 インターバル30秒 1分半 1分半										
一般Aクラスワンマッチ			あり	禁止	連続攻撃禁止	連続攻撃禁止	禁止	禁止(即失格あり)	禁止	禁止	禁止
一般Bクラスワンマッチ			あり	禁止	連続攻撃禁止	連続攻撃禁止	禁止	禁止(即失格あり)	禁止	禁止	禁止
マスターズワンマッチ			あり	禁止	連続攻撃禁止	連続攻撃禁止	禁止	禁止(即失格あり)	禁止	禁止	禁止
マスターズビギナーワンマッチ			あり	禁止	連続攻撃禁止	連続攻撃禁止	禁止	禁止(即失格あり)	禁止	禁止	禁止

※ワンマッチは引き分けありとする。

	防具・服装							
	ヘッドガード	グローブ	ファールカップ	布製スネサポーター	布製膝サポーター	マウスピース	服装(Tシャツ&パンツまたは流派の正統道着)	バンテージ
一般トーナメントAクラス	×	主催者用意	各自用意	各自用意	各自用意	各自用意	各自用意(ただしタトゥー・入れ墨は隠すように)	任意着用
一般ワンマッチAクラス		主催者用意	各自用意	各自用意	各自用意	各自用意	各自用意(ただしタトゥー・入れ墨は隠すように)	任意着用
一般ワンマッチBクラス		主催者用意	各自用意	各自用意	各自用意	各自用意	各自用意(ただしタトゥー・入れ墨は隠すように)	任意着用
マスターズワンマッチAクラス		主催者用意	各自用意	各自用意	各自用意	各自用意	各自用意(ただしタトゥー・入れ墨は隠すように)	任意着用
マスターズワンマッチBクラス		主催者用意	各自用意	各自用意	各自用意	各自用意	各自用意(ただしタトゥー・入れ墨は隠すように)	任意着用

※相手のノーガードの箇所、的確にクリーンヒット場合、ダメージの有無を審判が判断して技ありが与えられる。
また、中段、下段に関しても同様ダメージの有無を審判が判断して技ありが与えられる。
(ダメージが強い場合は一本を取る場合がある。ガードしていてもダメージが強い場合、技ありまたは一本とする。)
※(マスターズ)ダメージを見極めて、早々に技ありを宣告する。
※試合途中嘔吐した場合は続行不可能として負けとする。
※Tシャツはパンツの中に入れる。タトゥーを隠さない場合は失格となる。※Tシャツ・パンツ以外で道着はOK。ただし帯はテープなどで固定する事。
※グローブ・ヘッドガードは貸出。グローブは14オンス使用。それ以外はすべて自分で用意すること
※ワセリン使用禁止。薬物行為は禁止。バンテージの中に詰め物禁止。(バンテージチェックあり)

組手試合の勝者は、一本勝ち、判定勝ち、相手の反則ないし失格による勝ちにより決定する。反則箇所を除いた部分に、突きや蹴りを、相手の防御されていないところを狙って、いかに的確に攻撃を決めるかを最優先にして優劣を競う全真会館キックボクシングルール(全真KBルール)を採用する。

- (1) 一本勝ち (KOノックアウト)
相手が5秒以上ダウン。一時的にでも戦意を喪失した場合。2度目のダウンした場合
- (2) 技有り(2回で1本(ノックアウト))
一瞬のダウンの場合。また的確にか相応の打撃が入って相手の動きがダメージにより一瞬とまった場合。
- (3) TKO(テクニカル・ノックアウト) 選手は、以下の場合にTKO(テクニカル・ノックアウト)となる。
(a) 選手の一方が著しく優勢な場合は、主審の判断により、試合終了を待たずに勝者を決定することができる。(レフェリーストップ)
(b) 選手が負傷や大きなダメージにより大会医師が試合続行不可能と判断した場合。(ドクターストップ)
選手が出血し(鼻血等の出血)、ドクターの診断を受け、止血した場合は試合を続行するが、その後再度出血した場合。
(c) 相手選手のセコンドよりタオル投入があったとき。
- (4) 判定勝ち・引き分け
試合時間内に一本勝ちやTKO、失格で勝敗が決まらなかった場合は審判団の判定により勝敗を決する。
どちらかの選手が、審判団数の過半数以上の賛同を得た場合に勝利となる。それ以外は引き分けとする。
ただし、両者ダブルダウンした場合、両者5秒以上ダウンした場合は引き分けとなる。
- (5) 失格負け
(a) 偶発的な金的攻撃でダウンし、1分以内のインターバル後回復しない場合は大会ドクターと大会役員の協議結果、試合続行不可の場合、反則者負けとなる。
(b) 防具不備の場合。
(c) 選手・セコンド関係者のヤジ・冒流行為(法的処置をとる場合あり)
(d) 審判・関係者の指示に従わない場合。
(e) 呼び出ししてもいない場合。
(f) 自ら場外に出た場合戦意喪失とみなす。
- 選手または所属する団体の責任者はならびにその関係者、保護者は審判員の宣告に対して不服・異議を申し立てる事はできない。
- 本大会規定に定められていない問題が生じた場合、大会役員、審判長、審判員、及び試合審議役の合議によってこれを処理するものとする。

●全真KBルール反則事項

反則には下記の通りとなる。

反則技・反則行為があった場合、まず主審口頭注意となる。改善が無い場合は口頭警告となる。それでも改善無い場合は注意1が与えられ、それ以降注意2で減点となる。さらに反則をした場合、注意1、さらに反則した場合は注意2、あわせて減点2となる。さらに反則した場合は注意1、さらに反則した場合は注意2、あわせて減点3となり失格となる。(反則はすべての反則行為合算とする)

※反則の種類や度合い、悪質であると判断された場合には、審判裁定、大会審判長裁定により注意を通り越して減点、もしくは失格となる場合もある。

●反則

◎危険行為(基本的な反則の取り方をするが、審判員が悪質な反則とみなした場合、一発で減点を取る可能性もある。)

①上段への膝蹴りは反則

(手、肘、腕、による首への攻撃は反則となる。故意であるなしに関わらず、厳しく注意をとる。

②頭突きによる攻撃。

③男子選手の金的への攻撃。及び、女子選手の下腹部への攻撃。

但し、男子の出場選手には金的ファールカップ、女子の出場選手にはアンダーガード・女子用ファールカップの着用を義務付ける。

女子選手の下腹部とは、帯から下(ヘソから下)から足の付け根の辺りまでの鼠蹊部(ソケイブ)の事をいう。

カップやアンダーガード着用の上で金的や下腹部への攻撃を受けた場合、反則した選手に注意が与えられ、ダメージのある選手には、休憩時間を与える措置をとる。

カップやアンダーガードの着用義務を怠り、金的や下腹部への攻撃を受けた場合は、反則した選手に注意が与えられるが、ダメージが大きくて試合を続行出来ない

時は、自己の不注意による試合続行不可能として相手選手の勝ち扱いとなる場合もある。

④倒れた相手へ直接打撃を加えたとき。

⑤関節部分に関節技、あるいは首への締め技をかけること。

⑥背後からの攻撃

相手選手が完全に無防備に後を向いてしまった場合に攻撃してはいけないが、自ら後を向いてしまった選手には戦意放棄と見なす。

⑦試合終了、あるいは主審の止めのコール後や相手が場外に出たのに攻撃すること。

但し、プロテクターが外れたり、あるいは場外になるときに、気を抜いて相手の攻撃によりダメージを受けた場合は、審判の判断により、技有り、又は一本になる

場合もあるので絶対に気を抜かないこと。試合中に気を抜いた選手には、戦意放棄と見なす。

⑨全クラスでの大腿部(太もも)または、ふくらはぎに中足、足刀、足裏による正面・外側面への攻撃、または内側への攻撃

⑩全クラスでの膝関節(全方位)に中足、足刀、足裏、かかとによる正面・外側面への攻撃、または内側への攻撃

◎掴み等について

①両手または片手による掴みからの攻撃

両手または片手による掴みは、攻撃のための瞬間的なものを認めるが、掴みからの攻撃(首相撲も含む。蹴り足掴みも含む)は1回とする。連続攻撃した場合は反則となる。

但し、着衣に対する掴みは反則とする。

引っ掛けに関しては、一瞬の技を出す為の引っ掛けは有効であるが、掴みからの攻撃と同様とする。

但し、掴んで足払いをかけて倒して決めた場合は判定材料で有効となる。

(瞬間的に技を掛けないと反則となる。)

②グローブで相手の腕を押さえる行為は反則とする。

◎その他の違反行為に関わる反則

①故意に場外に逃げること。(場外注意)戦意喪失とみなし、失格とする場合あり。

②技の掛け逃げは、反則として注意をとる。

自分が技を掛けた後、倒れ込んでしまう様な技(回転胴回し蹴り等)は相手の攻撃が効いた時など、苦し紛れや休む為に出した場合「掛け逃げ」と判断する。

技の掛け逃げに関しては、注意2で減点1とするが、故意であると主審が判断した場合や悪質な場合は、ただちに減点になる場合もある。

③過度な反則のアピールは、度が過ぎると注意、減点の対象となる。

選手は過剰に反則を審判にアピールする行為は非常に見苦しく、格闘技精神に反する。もちろん反則行為を容認するものがないが、節度のある対応を希望する。

④審判員の指示に従わなかったり、選手として相応しくない態度、及び言動をとること。

⑤相手選手を中傷するような掛け声や、野次などをとばした場合、選手に注意や減点が与えられることがある。即失格とする場合もある。

⑥以上の他、審判員が特に反則と見なしたとき。

●失格

① 試合中、審判員の指示に従わない時。

② 出場時刻に遅れたり、出場しない時。

③ 見合ったままの状態で30秒以上経過した時。 この場合は戦意なしとして、双方失格となる。

④ 粗暴な振る舞い、悪質な試合態度とみなされた時。

⑤ 減点を3回重ねた時。(ただし、減点1を取られた場合の後の、悪質で危険な反則行為は即減点2となり失格となる場合もある。)

⑥ 反則攻撃により、相手選手が負傷して試合続行不可能になった場合。

●ドクターストップについて

選手の方が著しく優勢の場合や主審が必要であると判断した場合には、試合終了を待たずして試合をストップして裁く事がある。

選手が負傷のため、試合を続行することができない場合には、次の項目によって勝敗を決定する。

①負傷の原因が相手の反則による場合は、故意・偶発性にかかわらず反則者の負けとする。

(負傷者が出た場合、試合を継続させるかどうかは大会医師の判断で、試合の勝敗に関する事は、審判長・審判員・監査役が協議の上、決定する。)

②負傷の原因が負傷者自身の不注意による場合は、負傷をした方の負けとする。

(負傷者が出た場合、試合を継続させるかどうかは大会医師の判断で、試合の勝敗に関する事は、審判長・審判員・監査役が協議の上、決定する。)

※膠着状態、或いは場外際等できわどい状況で、主審が“止め”または“場外”などのコールを宣告して、ブレイクに入る状態を待たずにガードを下げ戦闘状態を

解いてしまった場合、その瞬間に攻撃を受けて負傷しても、②が適用されるので、競技者は注意すること。

●Tシャツ・装飾品・テーピング・タトゥーについて

①選手はTシャツ・バトルパンツの着用は認めるものとする。または空手着の着用を認める。各クラスで認められた装着義務のあるプロテクター

サポーターやグローブ類以外の物を付けてはならない。選手はタトゥーを隠すようにすること。

②大会ドクターが認めたテーピング等は、この限りではない。アクセサリー・指輪等は必ず外さなければ試合を行う事はできないものとする。

●全クラス体重別クラスでの測定規定について

各クラスのみ体重測定があり。

【クラスの規定体重を】計量オーバーした場合、大会開始時間までにクリアすること。クリアできない場合は失格とする。



FIGHT！全真会館選手

全真空手道連盟 全真会館は大阪・兵庫・三重・愛知・東京に道場があります。

外岡道場管轄

- 福島本部
- 阿倍野本部
- 西屋内プール教室
- 桃が池教室
- 須磨教室
- 中央屋内プール教室

高原道場管轄

- 中部本部
- 名古屋本部
- 大阪住吉支部
- 四日市支部高角教室
- 四日市支部野田教室
- 四日市支部富田教室
- 大曽根教室
- 名東教室
- 東京神田教室
- 東京杉並教室

全真空手道連盟 全真会館公式ホームページ



<https://www.zenshinkai-kan-karate.com/>

全真会館2025年度-2026年度主催大会イベント

2025年9月7日(日)
カラテオールジェネレーションカップ名古屋2025(一般マスターズのみ)
名古屋市露橋スポーツセンター
ただいま選手募集中 7月26日土曜日締め切り日

2025年9月7日(日)
リアルチャンピオンシップ中部地区組手練習会(ジュニアのみ)
名古屋市露橋スポーツセンター

2025年9月15日(月祝)
リアルチャンピオンシップ選抜カラテオールジェネレーションカップ中部2025(ジュニアのみ)
愛知県津島市錬成館

2026年2月8日(日)
カラテオールジェネレーションカップ大阪2026 & アマチュアキックボクシング(一般マスターズ・ジュニア)
大阪市中央体育館

2026年3月8日(日)
リアルチャンピオンシップ選抜全真カップ全東海空手道選手権大会2026(一般マスターズ・ジュニア)
愛知県武道館大道場